

# 林業・木材産業循環成長対策交付金の取組事例

## 事業概要

### 【林業機械作業システム整備】

事業実施主体：最上広域森林組合（山形県）

導入機械：プロセッサ

## 取組概要

山形県の施策「やまがた森林ノミクス」の推進に向けて県産材を安定的に供給するため、プロセッサを新たに導入し、労働軽減及び生産性の向上を図った

### 【成功のポイント】

従来はグラップルによる集材、チェンソーによる造材・採材を行っていたが、機械導入によりプロセッサ1台で一連の作業が可能となったことにより、作業の省力化に加え、作業効率を向上させることができた

## 事業効果

### 【事業実施による効果】

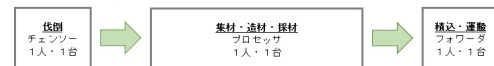
プロセッサ導入により、集材・造材・採材作業効率が飛躍的に向上したことで素材生産性が倍増

最上広域森林組合（山形県）作業システム比較フロー図

#### ■ 従来型作業システム



#### ■ 新作業システム



(プロセッサ)

**素材生産量 31%増加 (R6実績値 26,400m<sup>3</sup>)**  
**素材生産性 150%増加 (R6実績値 9.99m<sup>3</sup>/人・日)**

成果目標：素材生産量	整備前 (H31～R3)	20,200m <sup>3</sup>
	目標値 (R10)	26,500m <sup>3</sup>
	整備前 (H31～R3)	4.00m <sup>3</sup> /人・日
	目標値 (R10)	5.20m <sup>3</sup> /人・日

## 事業概要

### 【木材加工流通施設整備】

事業実施主体：有限会社堀本製材所（愛媛県）

導入施設：ツイン丸鋸盤

## 取組概要

当事業者は、地域の製材工場として製材品を安定供給するほか、地域独特の風を利用した天然乾燥材など特徴ある製品は県外からの引き合いもあり、需要に応じた柔軟な対応を行っている。ウッドショックを契機とした国産材需要の高まりを受け、木材製品の供給力強化を図るため、本事業においてツイン丸鋸盤を導入した

### 【成功のポイント】

- ・大手製材所が柱材をメインにする中、小径木や大径木も取り扱い、人工乾燥・天然乾燥を使い分けながら、小回りの効く幅広い製品供給に対応。既存の帯鋸ツインと2台体制とし、小径木の消費量を拡大
- ・小径木は量も少ない中、原木が供給される事と、不安定な市場にも関わらず、製品が安定的に購入される事が最大の要因
- ・令和6年度にJAS認定を取得し、高品質な製品の供給を強化

## 事業効果

### 【事業実施による効果】

ツイン丸鋸盤の整備により木材製品の供給力が強化された。JAS認定の取得による信頼度の向上と、取引先の要望に対するきめ細かな対応により、地域への安定供給や全国的な取引に繋がっている

**地域材利用量 17%増加 (R6実績値 4,100m<sup>3</sup>)**



(ツイン丸鋸盤)



(小径木)



(製品 60角・90角)

成果目標：地域材利用量 整備前 (R4) 3,500m<sup>3</sup> 目標値 (R10) 5,000m<sup>3</sup>

# 林業・木材産業循環成長対策交付金の取組事例

## 事業概要

### 【木質バイオマス供給施設整備】

事業実施主体：DSグリーン発電甲斐（同）（山梨県）

導入施設：チップー等

## 取組概要

甲斐市バイオマス産業都市構想に基づき、官民連携により甲斐双葉発電所が稼働を開始したことに伴い、事業実施主体が新たにチップー等を導入して発電所の隣接地に木質チップ製造施設を整備することで、効率的な木質チップの生産を図り、燃料の安定供給を実現

### 【成功のポイント】

甲斐市において十分なストックヤードを確保するとともに、選定経営体と安定取引協定を締結するなど、安定供給体制を実現

## 事業効果

### 【事業実施による効果】

甲斐市や関係事業者等との連携により、これまで未利用であった林地残材を含む木質バイオマスの有効活用が進展した

木質バイオマス利用量が増加（R6実績値 112,330m<sup>3</sup>）



（原料の低質材）



（チップーによる破砕）

成果目標：木質バイオマス利用量  
整備前（R5）－ m<sup>3</sup> 目標値（R10）98,770m<sup>3</sup>

## 事業概要

### 【木造公共施設整備】

事業実施主体：逗子市（神奈川県）

整備施設：逗子市沼間小学校区放課後児童クラブ

## 取組概要

放課後児童クラブの移転に伴い、新学童施設を木造で建設。在来工法を基本とし、構造材はヒノキを中心に、内部造作にもヒノキの加工材を使用

### 【成功のポイント】

構造材を現しにした他、仕上材には神奈川県産材を60%以上使用し、“感触的包容”によって児童と共に成長する施設を実現

## 事業効果

### 【事業実施による効果】

施設を利用する園児・児童からは、「木のぬくもりや木の香りなどによって、のびのびと気持ちよく遊べる」、「自然が感じられていい」、「夏も涼しく感じる」、「木だから落ち着く」と好評を得ている。神奈川県産材に囲まれた10m四方の無柱空間は、日常的に木材利用の良さを感じられる場所となっている

単位面積当たりの地域材利用量（R6実績値 0.02m<sup>3</sup>/m<sup>2</sup>）  
施設利用者数（R6実績値 945人）



（施設内観）

成果目標：単位面積当たりの地域材利用量  
整備前（R5）－ m<sup>3</sup>/m<sup>2</sup> 目標値（R10）0.02m<sup>3</sup>/m<sup>2</sup>